

講習会・研修会のご案内

FROM JW CENTER

教育研修部

1. 産業廃棄物マネジメント研修

産業廃棄物を排出される企業の実務担当者等の方を対象に、委託契約やマニフェスト運用等の産業廃棄物の適正管理についての基礎知識と実務のポイントを学ぶ研修会です。オンライン会議システムを用いたライブ配信で実施しており、研修の中で質疑応答の時間を設けているので、講義の不明点を講師に直接質問することができます。全業種を対象とした「排出企業を対象にしたマネジメント研修会」と建設業を対象とした「建設業に特化した産業廃棄物マネジメント研修会」を開催しております。2024年度は全17回の開催としており、2025年1月以降の開催日程は下表のとおりです。

表 産業廃棄物マネジメント研修会の開催日程

全業種を対象（一般企業向け）	建設業を対象
2025年2月14日（金）、3月7日（金）	2025年2月21日（金）

2. 2025（令和7）年度 講習会

2025年度の講習会は、今年度に引き続きオンライン形式と対面形式の2つの開催形式により開催いたします。2025年度は全体の2割程度を対面形式で開催いたします。

また今年度に引き続き、主要都市でのみ開催していた「産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（新規）処分課程」及び「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新）処分課程」を全都道府県で開催いたします。

オンライン形式は4月から、対面形式は7月からの開催で、受講申込受付はいずれの開催形式も2025年3月下旬の開始を予定しています。

令和6年版 廃棄物処理法令（三段対照）・通知集

●法令（法律・政令・省令及び告示）

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行令（政令）、施行規則（省令）を互の委任関係が分かりやすい三段対照として編集。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係政省令及び告示も収載。

●通知

- ・排出事業者及び産業廃棄物処理業者に関わりのある通知を最新内容まで厳選して収載。

●資料編

- ・廃棄物処理法における罰則一覧、廃棄物関連ホームページ一覧を収載。

JWセンターホームページよりお申込みください。

URL <https://www.jwnet.or.jp/info/publish/hourei/index.html>



定価 5,500円（本体 5,000円＋税）

埼玉県環境整備センター、 彩の国資源循環工場 施設見学会

FROM JW CENTER

2024年10月11日（金）にJWセンター職員12名が埼玉県環境整備センター及び彩の国資源循環工場を見学しました。

埼玉県環境整備センターは、埼玉県が事業主体となり産業廃棄物及び一般廃棄物の最終処分を行っています。

地域に根ざした施設運営にも力を入れており、埋立が終了した跡地を、「三ヶ山緑地公園」として活用したり、太陽光発電施設「三ヶ山メガソーラー **写真1**」として利用しています。「三ヶ山緑地公園」については、地域住民の方の利用のみならず、近年では、東京オリンピック2020開催の際に、プータン王国の陸上チームが事前キャンプを行いました。

敷地内は最終処分場だけでなく、県と民間の施設等で構成される公共機関による全国初めての総合的資源循環モデル施設「彩の国資源循環工場」が13社稼働しています。今回はその中のオリックス資源循環株式会社のバイオガスプラントと株式会社ウム・ヴェルト・ジャパンの両施設を見学しました。

オリックス資源循環株式会社寄居バイオガスプラント **写真2** では、食品ごみ、紙ごみ等の廃棄物系バイオマス活用し乾式メタン発酵による発電を行っています。発電された電力は、東京電力に売電しています。

株式会社ウム・ヴェルト・ジャパンでは、蛍光管リサイクル及び太陽光パネルリサイクルを行っています。

今回見学した2施設は、先端技術を有する民間リサイクル施設であり、それぞれの特性を活かし、実際に資源循環を行っている処理施設でした。効率的で効果的な資源再生と技術について理解を深めることができました。

今回ご対応いただいた関係者の皆様がこの場をお借りしましてお礼申し上げます。



写真1 三ヶ山メガソーラー



写真2 寄居バイオガスプラント

松江市、アースサポート株式会社 訪問取材報告

FROM JW CENTER

教育研修部 西村 隆太郎、情報サービス部 石原 滉士

令和6年10月17日、18日に第3回脱炭素先行地域として認定を受けて松江市、及び松江市内に本社を置くアースサポート株式会社の取材に同行しました。

松江市では、脱炭素に向けた様々な取り組みについて、市民からの理解や事業者との連携を重視しながら進めていることをご説明いただきました。「観光&カーボンニュートラル」という、独自の組合せをもとに生み出されたアイデアはどれも魅力的で、大変興味深くお話を聞かせていただきました。

また、アースサポート株式会社では、太陽光パネルリサイクル事業や、プラスチックマテリアルリサイクル事業（施設見学の際は、まさに「牛乳瓶の蓋」を処理していました！）などについてご説明いただきました。同社は、このような事業にいち早く取り組んでおり、社会変化に対応する企業意識が非常に高いと感じました。また、地域一体となって事業に取り組む姿は非常に印象的でした。今後は地元電力会社と連携しながら太陽光パネルのリユース事業も展開していくとのことでした。

最後に、取材にご対応頂いた皆様方に心より感謝申し上げます。



JW センター主催 「廃棄物処理法初心者のための Web 講座」 令和 6 年度第 3 弾 開催報告

FROM JW CENTER

総務部広報室

第 3 弾は、第 1、2 回は「行政処分」、第 3、4 回は「廃棄物処理法許可不要制度」をテーマに、講義および演習・解説を実施いたしました。

[講師] 第 1、2 回 是永 剛 氏 (長野県環境部 水大気環境課長)

第 3、4 回 長岡 文明 氏 (BUN 環境課題研修事務所 主宰)

[対象] 環境省・都道府県政令市等の産業廃棄物部局のご担当者

[開催日時及び講義内容]

講義内容	日 時
第 1 回 行政処分 (1)	令和 6 年 11 月 11 日 14:00 ~ 16:30
第 2 回 行政処分 (2)	令和 6 年 11 月 18 日 14:00 ~ 16:30
第 3 回 許可不要制度 (1)	令和 6 年 11 月 25 日 14:00 ~ 16:30
第 4 回 許可不要制度 (2)	令和 6 年 12 月 3 日 14:00 ~ 16:30

第 20 回 産業廃棄物と 環境を考える全国大会の開催 ～産業廃棄物の適正処理や資源循環の取り組みの促進～

FROM JW CENTER

令和 6 年 11 月 15 日 (金) 岐阜県において、(公社) 全国産業資源循環連合会、(公財) 産業廃棄物処理事業振興財団及び JW センターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催いたしました。本大会は第 20 回目を迎え、多くの廃棄物関係者等 (574 名) の参加がありました。

大会では、環境大臣表彰式典の後、環境省環境再生・資源循環局の角倉次長により『循環経済を国家戦略に』と題する講演を行っていただきました。

次回は、令和 7 年 10 月 31 日 (金) に北海道での開催を予定しています。

●開催概要

[開催日時] 令和 6 年 11 月 15 日 (金)

[場 所] 岐阜グランドホテル (岐阜県岐阜市)

[プログラム] 15:00 ~ 開会式

15:20 ~ 環境大臣表彰式典

16:00 ~ 講演「循環経済を国家戦略に」

講師：角倉 一郎 氏

(環境省環境再生・資源循環局次長)

17:00 閉会



写真 講演の様子